

47 スネナガイソガニ

(モクズガニ科)

兵庫県ランク:C

Hemigrapsus longitarsis

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道厚岸湾から熊本県までに分布する。甲幅15mm。潮間帯下部から潮下帯の砂泥底、アマモ場の根際や石の下に生息する。水から出ることはない。体色はほぼ単色の赤褐色から暗緑褐色の斑模様まで変異がある。甲は正方形に近く、側縁には切れ込みが2つある。同属のケブサイソガニなどとは脚が長いことで容易に識別でき、形態の似ているモクズガニの幼体やチゴイワガニとは甲の形が正方形に近いことで識別できる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
				○			○

県内分布

西宮市、姫路市、たつの市、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。阪神地域、播磨西部及び淡路島で記録があるが、記録は散発的。

保護上の留意点

砂泥底のアマモ帯が県内ではほとんど見られなくなっており、本種の個体群減少が懸念される一方、大阪湾において、本種は潮下帯に多数の個体がいるとの報告もある(Ariyama, 2013)。潮下帯から潮間帯下部に至るアマモ帯が自然に復活した場合、本種の潮間帯個体群は増加する可能性がある。



【執筆者】 渡部哲也